

休日にケガしたら

6月1日	吉田町	吉田	県立病院	3-3131
8日	卷町	卷	町立病院	2-3111
15日	吉田町	吉田	県立病院	3-3131
22日	分水町	本間	医医	2350
29日	卷町	川口	医医	2-2047

発行所 岩室村役場
印刷所 卷北洋印刷K.K

No.86

弥彦スカイライン開通を機に

村ぐるみ大衆レジャー産業開発

◇レストハウス(45年4月完成)

高頭翁周辺
建築100坪12,000千円、遊園施設3,000千円、駐車場2,000千円、その他1,000千円、計18,000千円

◇一般駐車場(村営)

◇展望台 レストハウス附近または尖角附近(2階建程度)
売店15坪1,800千円、展望台1,500千円
計3,300千円

◇村民憩の家(老人) 45年8月完成

種月寺山(道路、駐車場村営)
玄関5坪、事務室4坪、寄付6坪、応接室4坪、浴室5坪、更衣室5坪、料理室6坪、物置2坪、廊下外15坪、部屋小5室15坪、中5室25坪、大15坪、ステージ5坪
計11,200千円、調度品1,500千円、冷暖房設備2,500千円、合計15,200千円

◇温泉会館(46年8月完成)

大会議場、結婚式場、演舞場文化財展示場等
大会議場300坪、ステージ6坪、客室大2室30坪、客室小5室25坪、料理室6坪、事務室5坪、宿直室3坪、玄関5坪、ロビィ10坪、廊下15坪計405坪40,500千円
冷暖房設備405坪8,100千円
合計48,600千円

◇駐車場設備(種月寺山建物に接近)

3,000千円

◇遊園設備(46年3月完成) 大人兼子供

遊園施設
1,800坪18,000千円

施設費合計 スカイライン21,300千円

丸子山 84,800千円

合計106,100千円

弥彦スカイラインは、間瀬トンネルを起点に建設され、延長一万三千八百メートルのうち、岩室地籍は四九%に当る六千八百メートルで、スカイラインの醍醐味と眺望はほとんどこの間にあり、このため村民に同線の工事着工と共に深い関心が持たれ、開通で迎えられた。

このため村民に適するような、景観、土質、用地の広さなど、つぶて、十日の現地視察には弥彦村と岩室村の境界線を確認し、施設を建設する条件について検討されていた。

延長一万三千八百メートルのうち、岩室地籍は四九%に当る六千八百メートルで、スカイラインの醍醐味と眺望はほとんどこの間にあり、このため村民に同線の工事着工と共に深い関心が持たれ、開通で迎えられた。

弥彦山頂・丸子山一帯に温泉会館・村民いこいの家

村長構想を発表

村長構想を発表

来春、四月弥彦スカイラインの開通に伴い、岩室村の将来も大きく変わることだろう。スカイライン開通と共に村の観光施策の進め方にについて研究されてきたが、五月十日、村長、議会、総合開発審議会は現地視察し検討会を開いた。その検討会の席上において村長は私案構想を発表した。「岩室村の住民生活の発展と、訪れる観光客に、うるおい」を与えるためにも村民の協力を得て実現したいと要望。岩室観光開発株式会社を設立し資

本年一億六百万円を投入、昭和四十五年から一ヶ年間のうちに弥彦山頂附近にレストハウス、展望台をつくる。また西保育所裏の小丘にも「村民いこいの家(老人)」、「温泉会館」を建設したい……実現すれば、スカイラインと温泉、海と多方面にわたる観光資源が開発され、飛躍的に発展するものと期待が寄せられている。

に岩室観光開発株式会社(仮称)を設立、一般村民か

らも出資をおねがいし経営に参加していただき、各種

観光事業を進める。

総事業費一億六百万円で

表の内容規模である。

特に注目されることは、

老人福祉に村の力が注そがれているが、「村民いこいの家」が昭和四十六年に建設され老人達が気軽に湯につかり親睦の場ができる。

また近くに温泉会館が四

千八百六十万円で作られ

した。

開通足がかりに地元關係

開通足がかりに地元關係